

総合的な学習の時間学習指導案

I 題材名 職場体験学習

II 題材の考察

1 生徒の実態

本題材を設定するにあたり、研究協力校第2学年の生徒を対象に実態調査を行った。以下はその調査結果とそれに対する考察である。

・・・・・・・・・・・・・・・・略・・・・・・・・・・・・・・・・

中学生はキャリア発達の段階として現実的探索と暫定的選択の時期と言われる。研究協力校の第2学年の生徒も、まさに今、この時期にいることが実態調査で明らかになった。このような生徒に対して、望ましい勤労観、職業観を育成することは大変意義のあることであり、価値のある学習であると考え、本題材を設定した。

2 題材観

若者をめぐっては、勤労観、職業観の未熟さや職業人としての基礎的資質や能力の低下、精神的・社会的自立の遅延、安易な高学歴指向やモラトリアム傾向の拡大、いわゆるフリーター、ニートと呼ばれる人たちの増加が社会的、教育的な課題となっている。このような状況の中、児童生徒に望ましい勤労観、職業観をはぐくむためにキャリア教育を充実することが求められてきた。そのキャリア教育の中核をなすのが職場体験学習である。職場体験学習には以下のような意義がある。

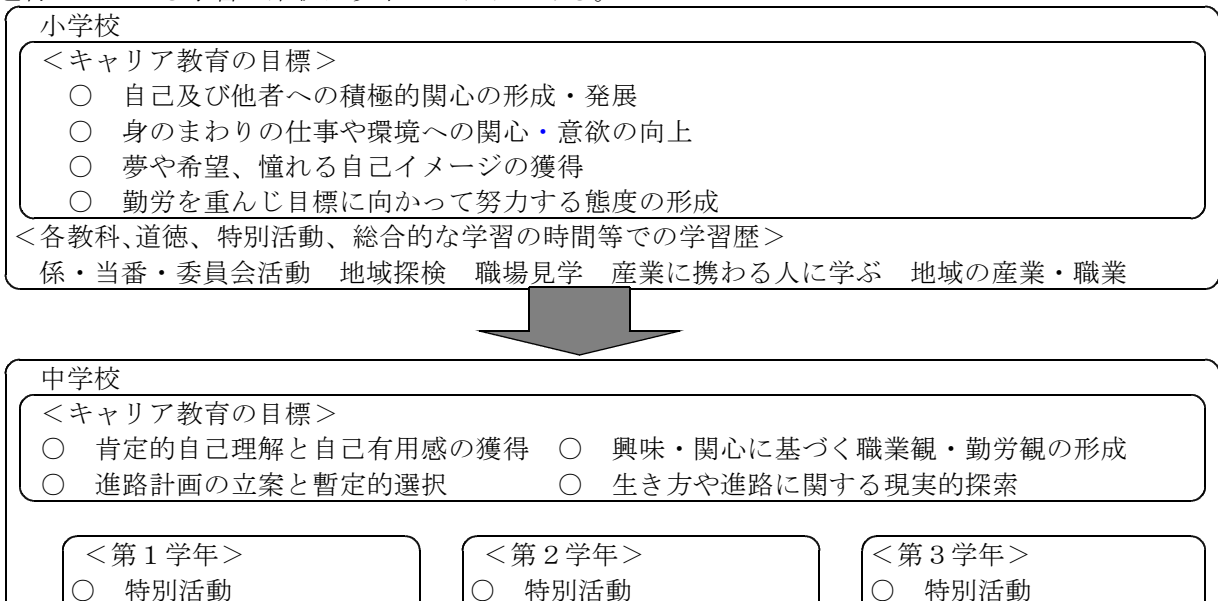
- 自己理解を深め、職業の実像をつかみながら、望ましい勤労観、職業観を身に付けることができる。
- 学校の学習と職業との関係についての理解を促進できる。
- 異世代間を含めたコミュニケーション能力の向上が図れる。
- 実際的な知識や技術を学ぶことができる。
- 地域や事業所に対する理解を深め、地元への愛着や誇りをもつことができる。

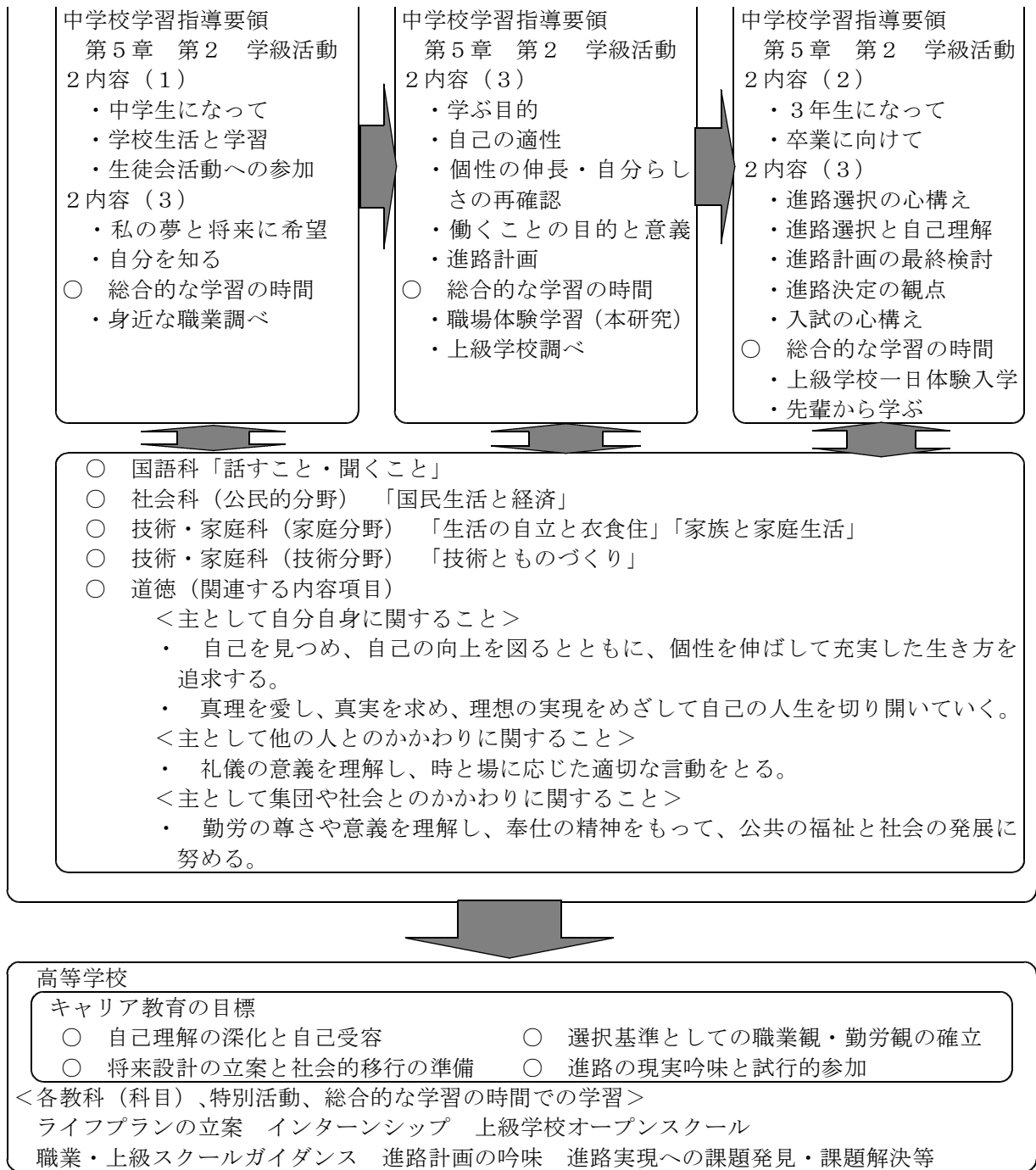
「職場体験ガイド」(平成17年文部科学省)

このように職場体験学習は、実際に職場を訪れ、働くことを体験したり、働く人たちと接したりすることで、働くことの意義や目的を理解し、進んで働こうとする意欲や態度などをはぐくみ、これからの自己の進路について考えようとする態度を育てることができる学習である。つまり、中学校卒業後の進路について具体的に考え始めるこの時期の生徒にとって、これからの進路を考え、主体的に進路を選択・決定しようとする態度、能力をはぐくむ上で適切な題材であると考えられる。

3 系統観

本題材にかかわる学習の系統は以下のとおりである。





4 指導方針

- 「振り返りシート」を活用することにより、学習活動の振り返り及び自己への振り返りをさせ、生徒に望ましい勤労観、職業観を育成する。
- 学習目標を設定してから学習に取り組ませることにより、課題意識をもった活動となるようにする。また、自己評価を行うことにより自己の取組を振り返らせるとともに目標に対する達成状況を確認させる。
- 充実した職場体験学習にするために職場体験自体の充実はもちろんのこと、その事前と事後の指導の充実を図るようにする。
- キャリア発達にかかわる諸能力(4能力領域8能力)と総合的な学習の時間の探究の四つの過程とをかかわらせて作成した学習プログラムに基づき、本題材の学習活動を設定し、その実践を通して生徒に望ましい勤労観、職業観を育成するようにする。
- 職業に関する基本的な理解として、職業には貴賤はないこと、職務の遂行には規範の遵守や責任を伴うことに留意させる。

Ⅲ 目標と評価規準

1 目標

- 学ぶことや働くことの意義及び自己や事業所に対する理解を深め、職業に関する知識や技術、社会的なルールやマナー、コミュニケーション能力を身に付ける。
- 自己の個性や興味・関心を生かした進路や生き方を考え、その実現に向けての課題を解決しようとする態度を身に付ける。

2 評価規準

- 自分のよさや個性を理解し、他者を尊重しようとしている。【自他の理解能力】
- 職場体験を通して、社会人としての基本的なマナーや言葉遣いを身に付けている。【コミュニケーション能力】
- 職業に関する様々な情報を収集し、自己の進路や生き方を考えている。【情報収集・探索能力】
- 職業に関する理解や働くことの意義を理解し、今、自分がしなければならないことを考えている。【職業理解能力】
- 仕事上の役割や意義を理解し、自己の生き方を考えている。【役割把握・認識能力】
- 職場体験で得た知識、技能を基にして自己の進路を考え、その実現のための進路計画を立てている。【計画実行能力】
- 自己の個性や興味・関心を生かした進路を選択しようとしている。【選択能力】
- 希望する進路実現に向けて、自らの課題を見だし、解決していこうとしている。【課題解決能力】

Ⅳ 指導計画

| 過程 | 主な学習活動 | 評価項目【4能力領域8能力】 |
|-------|--|---|
| 課題設定 | 「職場体験学習の意義とねらいを考えよう」 ○ 職場体験学習の目的について話し合い、個人の学習目標を考える ○ 体験先希望調査を基にして体験先を決定する。 | ○ 自分のよさや個性を理解している。【自他の理解能力】 ○ 自分の個性やよさを生かした体験先の選択、決定をしている。【選択能力】 |
| | 「事前調査をしよう」 ○ 事業所ごとに集まり組織づくりを行う。 ○ 職場体験の事前の調査を行う。 | ○ 体験先に関する様々な情報を収集し、知識を得ている。【情報収集・探索能力】 |
| 情報収集 | 「ルールやマナーを身に付けよう」 ○ 電話応対マニュアルと訪問マニュアルを活用して、その場に応じたルールやマナーを身に付ける。 ○ 電話で事前訪問の打合せを行う。 ○ 職場体験当日の質問事項の検討を行う。 | ○ その場に応じたコミュニケーションスキルを習得している。【コミュニケーション能力】 |
| | まとめ・表現 | ○ 自己のよさや個性を理解しようとするとともに友達のをよさを考え、尊重しようとしている。【自他の理解能力】 |
| 課題設定 | 「自分を再確認しよう」(授業実践①) ○ 「自分から見た自分」や「友達から見た自分」を基にして自分のよさを再確認する。 ○ 自己紹介カードを作成する。 | |
| | 事前訪問を行う。(夏期休業中に実施) | |
| 情報収集 | 職場体験当日の注意事項の確認を行う。(体験学習前日 帰りの会で) | |
| | 「職場での体験活動をしよう」 ○ 各事業所において職場体験を行う。 | |
| 整理・分析 | 評価項目【4能力領域8能力】 ○ 自分のよさや個性が仕事に役立つことを知り、自己の新たな可能性を見いだしている。【自他の理解能力】 ○ 習得したコミュニケーションスキルを活用し、社会人としての基本的マナーや言葉遣いなどを身に付けている。【コミュニケーション能力】 ○ 職場体験を通して職業に関する様々な情報を収集し、働く人々の様々な思いを感じている。【情報収集・探索能力】 ○ 職場体験を通じて職業に関する理解を深め、働くことの意義を考えている。【職業理解能力】 ○ 仕事上の役割や意義を体験的に理解し、自分の果たすべき役割を考えている。 | |

| | |
|--|---|
| まとめ・表現 情報収集 課題設定 | 【役割把握・認識能力】 ○ 選択した体験先が自己の適性、興味・関心に適合したものかを考えている。 【選択能力】 ○ 進路に関する自己の課題を見いだしている。 【課題解決能力】 |
| | 職場体験で学んだことを整理し、発表会に備える。(職場体験終了後) |
| | <基礎シート2> <補充・発展シート2> 「職場体験発表会」(授業実践②) ○ 職場体験を通して学んだことを発表し合い、まとめる。 ○ これからの生活で生かしたいことを考える。 【情報収集・探索能力】 |
| | 「お礼状を作成しよう」 ○ 礼状を作成する上での注意事項を話し合う。 ○ 礼状の作成をする。 【コミュニケーション能力】 |
| <基礎シート3> <補充・発展シート3> 「職場体験学習を振り返って」(授業実践③) ○ 職場体験を振り返り、まとめる。 ○ 働くことについての自分の考えをまとめ、働くことの意義を考える。 【職業理解能力】【情報収集・探索能力】 | |
| <基礎シート4> <補充・発展シート4> 「職場体験学習のまとめ」(授業実践④) ○ 職場体験から学び得たことと将来の進路を関連させてこれからの生き方を考えさせる。 ○ 進路目標を設定する。 ○ 実現に向けての課題とその解決策を考える。 ○ 努力目標を設定する。 【選択能力】 ○ 設定した進路目標の実現に向けての課題を考え、進路実現に向けての計画を考えている。 【計画実行能力】【課題解決能力】 | |

V 授業仮説

職場体験学習において、二種類の「振り返りシート」(<基礎シート>と<補充・発展シート>)を活用することにより、生徒は、学ぶことや働くことの意義及び自己や事業所に対する理解を深め、職業に関する知識や技術、社会的なルールやマナー、コミュニケーション能力を身に付けるであろう。また、自己の個性や興味・関心を生かした進路や生き方を考え、その実現に向けての課題を解決しようとする態度を身に付けるであろう。

VI 各時の学習活動

1 研究授業実践 I の学習活動

(1) 単元名

「自分を再確認しよう」

(2) 本時の学習

①ねらい

自分や友達のよさ、個性を再確認し、それを相手に伝えるために、まとめることができる。

育てたい能力・態度・・・◎人間関係形成能力(自他の理解能力)

②展開

| 過程 | 学習活動 | 支援 | 時間 | 評価の観点 |
|--------------|---|---|----|-------|
| 課題設定 情報収集 | 1 本日の学習活動を確認し、学習課題を設定する。 ○ 本日の学習内容の説明を聞く。 ○ 本日の学習目標を設定する。 | ○ 学習目標が設定できない生徒に対しては、学習内容を参考にするように指示する。 | 10 | |

| | | | | |
|--------|--|---|----|-------------------------------------|
| 情報収集 | 2 自分のよさを再確認する。 ○ 評価項目や評価の仕方について説明を聞く。 ○ <基礎シート1>に記入する。 | ○ <基礎シート1>を活用して、生活面・学習面・部活動面から自分を多面的にとらえ、自己理解を促進させるようにする。 | 15 | ○ 自分のよさや個性を理解しようとしている。 【自他の理解能力】 |
| | 3 友達のよさを考え、相手に伝える。 ○ 四~五人の小集団になる。(事前に分けておく) ○ 記入上の説明を聞く。 ○ 班員についてのがんばりを「がんばりカード」に記入する。 ○ 小集団になり、記入した「がんばりカード」を読み合い、感じたことを話し合う。 | ○ 実際の姿をとらえて記入するようにさせる。 ○ 「がんばりカード」を活用して友達のよさを考え、尊重していこうとする姿勢を育てるようにする。 | 10 | ○ 友達のよさを考え、尊重しようとしている。 【自他の理解能力】 |
| 整理・分析 | 4 自己紹介カードを作成する。 ○ 記入上の説明をする。 ○ 「がんばっていること」「性格」「自己紹介」の三つ以外は事前に記入させておく。 ○ <基礎シート1>と「がんばりカード」を基に記入させるようにする。 | ○ <基礎シート1>や「がんばりカード」をもとに再確認した自分のよさを「自己紹介カード」にまとめさせ、自己理解を深めさせる。 | 35 | |
| まとめ・表現 | 5 本時のまとめと自己評価をする。 ○ 自己評価の方法を説明する。 ○ 自己評価を行う。 ○ 本時のまとめを記入する。 | ○ <基礎シート1>を活用して学習目標に対する生徒の達成状況を確認し、場合に応じて個別に支援する。 | 10 | |

(3) 事後の学習

<補充・発展シート1>を用いて、達成状況が不十分な生徒の学習を支援する。一方、達成状況が十分な生徒に対しては学習事項をより発展させて考えられるようにする。

2 研究授業実践Ⅱの学習活動

(1) 単元名

「職場体験発表会」

(2) 本時の学習

①ねらい

職場体験の学習成果を伝え合うことで、職業に関する様々な情報を収集するとともに、それらを活用して自己の進路やこれからの生き方を考える。

育てたい能力・態度・・・◎情報活用能力(情報収集・探索能力)

②展開

| 過程 | 学習活動 | 支援 | 時間 | 評価の観点 |
|----|-----------------------|------------------------------|----|-------|
| 1 | 本日の学習課題を確認し、学習目標を<基礎シ | ○ 事前に<補充・発展シート1>で前時の学習内容の定着状 | 10 | |

| | | | | |
|-----------------|---|--|--|--|
| 課題設定 情報収集 | ート2>に書く。 | 況を確認しておく。 ○ 提示された学習課題を基にして自分の言葉で学習目標を設定させるようにする。 | | |
| | 整理・分析 まとめ・表現 | 2 職場体験発表会を行う。 ○ 各事業所の代表者が、調査内容や体験内容を発表し合う。 ○ 発表を聞き、<基礎シート2>にまとめる。 ○ 発表を聞いて、分かったことや感じたことをまとめる。 | ○ 発表会用原稿は事前学習で発表者にまとめさせておく。 ○ 作成した発表会用原稿は、印刷、配付し、発表を聞く際の補助資料として活用させる。 ○ 発表を聞く際の視点を発表用資料にあらかじめ示しておく。 ○ <基礎シート2>を活用して、職業に関する様々な情報を収集させ、職業についての理解を深めさせる。 ○ 発表し合うことにより、職場体験で得られた情報の共有化を図る。 | 50 |
| 課題設定 情報収集 | 3 自己の進路やこれからの生き方について考える。 ○ 職場体験を通して学んだことや発表会での友達の意見を基にして、自己の進路やこれからの生き方を考え、<基礎シート2>にまとめる。 ○ 小集団になり、各自の考えを発表し合う。 | ○ 今までの職場体験学習を振り返らせ、自己の進路や生き方を考えさせる。 ○ 小集団での意見交流を行うことにより、進路に関する考えを深めさせる。 | 10 | ○ 収集した職業に関する情報を基に、自己の進路やこれからの生き方を考えている。 【情報収集・探索能力】 |
| 整理・分析 まとめ・表現 | 4 本日の学習のまとめと自己評価をする。 | ○ <基礎シート2>を活用して学習目標に対する達成状況を確認し、事後の学習で<補充・発展シート2>を用いて個別に支援する。 | 10 | |

(3) 事後の学習

<補充・発展シート2>を用いて、達成状況が不十分な生徒の学習を支援する。一方、達成状況が十分な生徒に対しては学習事項をより発展させて考えられるようにする。

3 研究授業実践Ⅲの学習活動

(1) 単元名

「職場体験を振り返って」

(2) 本時の学習

①ねらい

職場体験を振り返り、学んだことや感じたことをまとめ、話し合うことで、働くことの意義を考えさせ、これからの進路について考えさせる。

育てたい能力・態度・・・◎情報活用能力（情報収集・探索能力 職業理解能力）

○将来設計能力（計画実行能力）

②展開

| 過程 | 学習活動 | 支援 | 時間 | 評価の観点 |
|------|--------------------------|---------------------------------------|----|-------|
| 課題設定 | 1 本日の学習活動を確認し、学習課題を設定する。 | ○ 事前に<補充・発展シート2>で前時の学習内容の定着状況を確認しておく。 | 10 | |

| | | | | |
|---------------------------------|--|---|----|---|
| 情報収集 整理・分析 まとめ・表現 課題設定 | 2 職場体験を振り返る。 ○ 学んだことや感じたことなどを<基礎シート3>にまとめる。 ○ <基礎シート3>にまとめたことを小集団で発表し合う。 | ○ <基礎シート3>を活用して職場体験を通して得た情報を比較・分類し、関連させることで、情報活用能力を育成する。 ○ まとめさせる内容は本研究で作成した学習プログラムに対応させる。 | 25 | |
| | 3 働くことの意義について考える。 ○ 自分の考えを<基礎シート3>にまとめる。 ○ 働くことの意義について<基礎シート3>を基に小集団で話し合い、発表し合う。 ○ 小集団の代表者が出された意見を発表する。 | ○ <基礎シート3>を活用した話し合い活動により、働くことの意義についての理解を深めさせる。 ○ クラス全体で発表する機会を設定し、意見の共有化を図る。 | 25 | ○ 職場体験を振り返り、学んだことや感じたことをまとめ、話し合うことで、働くことの意義を考えている。 【情報収集・探索能力】 【職業理解能力】 |
| | 4 職場体験から学び得たことを基に、進路実現に向けて必要なことは何かを考える。 | ○ 職場体験の学習成果を基にして自己の進路を考えさせることにより、将来設計能力を育てる。 | 10 | ○ これからの進路について考えようとする態度が養われている。 【計画実行能力】 |
| | 5 本日の学習のまとめと自己評価をする。 | ○ <基礎シート3>を活用して学習目標に対する達成状況を確認し、事後の学習で<補充・発展シート3>を用いて個別に支援する。 | 10 | |

(3) 事後の学習

<補充・発展シート3>を用いて、達成状況が不十分な生徒の学習を支援する。一方、達成状況が十分な生徒に対しては学習事項をより発展させて考えられるようにする。

4 研究授業実践Ⅳの学習活動

(1) 単元名

「職場体験学習のまとめ」

(2) 本時の学習

①ねらい

職場体験学習を通して学んだことを基にして、進路目標を設定し、その実現に向けての課題と解決策や進路実現に向けての努力目標を考える。

育てたい能力・態度・・・◎将来設計能力（計画実行能力）

◎意思決定能力（選択能力・課題解決能力）

②展開

| 過程 | 学習活動 | 支援 | 時間 | 評価の観点 |
|---------------------------------|-------------------------------|---|----|-------|
| 課題設定 情報収集 まとめ・表現 整理・分析 | 1 本日の学習課題を確認し、学習目標を設定する。 | | 10 | |
| | 2 これまでの職場体験学習を振り返り、学習成果をまとめる。 | ○ <基礎シート1>～<基礎シート3>を活用して、これまでの学習成果を想起させ、<基礎シート4>にまとめさせる。 ○ 生徒の到達状況によっては具体的な参照箇所を指摘し、学習 | 10 | |

| | | | |
|--------|---|--|--|
| 課題設定 | | <p>成果を想起しやすいように支援する。</p> <p>○ 希望職業が未定の生徒は資料「職業分類」を基に考えさせるようにする。</p> | |
| 情報収集 | <p>3 自分の進路目標を設定する。</p> <p>○ 自分の進路目標を<基礎シート4>に記入する。</p> <p>4 希望する進路の実現に向けての課題について考え、その解決策について小集団で話し合う。</p> <p>○ 進路実現の課題について考えたことを<基礎シート4>にまとめる。</p> <p>○ 進路実現に向けての課題を解決する方法について話し合い、<基礎シート4>にまとめる。</p> | <p>○ <基礎シート1>を活用して自己の適性を振り返らせたり、<基礎シート2>や<基礎シート3>を活用して職場体験の学習成果を生かした進路目標となるように助言したりする。</p> <p>○ 進路実現に向けての課題を整理、分類し、まとめることで進路を実現するための今後の課題を明確にする。</p> <p>○ 課題解決の方法を話し合わせることで進路実現に向けての見通しを立てさせる。</p> | <p>10 ○ 自分の個性や興味・関心を生かした進路目標を設定している。 【選択能力】</p> <p>15 ○ 進路実現に向けての課題を見だし、解決していこうとしている。 【課題解決能力】</p> |
| 整理・分析 | <p>5 進路目標を実現するための努力目標を考える。</p> <p>○ 進路目標を実現するために、中学校卒業までにできることを考える。</p> <p>○ 進路目標や進路希望実現に向けての努力目標を「進路実現カード」に書く。</p> | <p>○ 短期的目標の実現を積み重ねることが、最終的な進路目標の実現につながることを理解させる。</p> <p>○ 作成した「進路実現カード」は毎月末と学年末に自己評価させることで進路実現に向けての取組を見つめ直させ、実現に向けての意欲を高めさせる。</p> | <p>15 ○ 自己の進路を考え、その実現のための進路計画を考えている。 【計画実行能力】</p> |
| まとめ・表現 | <p>6 職場体験学習のまとめを行う。</p> <p>○ 「職場体験学習まとめ用紙」に記入し、職場体験学習の学習成果や得られた情報を再確認する。</p> <p>○ 職場体験学習を終えて学んだことや気付いたこと等を「振り返りシート4」にまとめる。</p> | <p>○ 「職場体験学習まとめ用紙」に記入させることによりこれまでの学習成果や得られた情報について再確認させ、学習事項の定着を図るようにする。</p> <p>○ これまでの学習を振り返り、学んだことや気付いたことなどを振り返らせ、本題材における学習のまとめとする。</p> | <p>10</p> |
| 課題設定 | <p>7 本日のまとめと自己評価をする。</p> | <p>○ <基礎シート4>を活用して学習目標に対する達成状況を確認し、事後の学習で<補充・発展シート4>を用いて個別に支援する。</p> | <p>10</p> |

(3) 事後の学習

<補充・発展シート4>を用いて、達成状況が不十分な生徒の学習を支援する。一方、達成状況が十分な生徒に対しては学習事項をより発展させて考えられるようにする。